



進路だより

第1号

2023年4月22日発行

宮城県東松島高等学校進路指導部

野球小僧にロケット小僧、あなたは何小僧？

東松島高等学校 校長

今年の3月、過去3年間のそれとは違う熱量を感じたのは私だけではなかったと思います。WBCでの日本代表の活躍はもちろんですが、大会期間中にテレビで流れたある企業のCM(コマーシャル)も、コロナ禍でありながら、我々に希望と勇気を届けてくれました。

そのCMでは、大谷翔平選手の三振した数やヒットを打たれた数など次々に「ネガティブな数」が紹介され、「二刀流が無理だと言われた数は数えきれない」という言葉に、大谷翔平選手本人が「でも、二刀流が無理だと思ったことは一度もない」と返答する言葉が印象的なCMでした。

私は、このCMに呼応して、『思いは招く』と題してYouTube上でプレゼンテーションを行ったロケット開発者の「植松 努」さんを思い出しました。約20分間のプレゼンで語られた植松さんの言葉の一部を紹介します。(是非、全編をYouTubeで「TED×Talks」を御覧ください)

- 「思いは招く」。僕の母さんが中学生のときに教えてくれた言葉です。思ったらそうなるよって意味です。思い続けるって大事です。
- 人間が生きていく上で大事なことは、できなかったことができるようになることかもしれません。
- その先生は「どーせ無理」という言葉をよく使っていたんです。
- 人は足りないから助け合えるんです。
- だから自分を責めることなく、足りない自分をマイナスに思う必要なく、一生懸命できることをすればよかったです。
- 学問っちゅうのは「社会の問題を解決するために人類が生み出したもの」。
- 教育というものは「死に至らない失敗を安全に経験させるためのもの」。
- 「どーせ無理」に負けない人が増えればいいんです。
- 僕たちは諦め方をちょっと習っちゃっているのかもしれない。そんな自分たちの自信を取り戻すための、とてもいい方法がひとつだけあります。それは、「やったことがないこと、やってみる」なんです。
- 自分なんて…って思わないでください。そして、これから先僕らがやってくべきことは、できない理由を探すことではありません。できる理由を考えることです。
- そして、最後に「このひと言があればどんな夢も叶っちゃうよ」って言葉をプレゼントして終わりにしたいと思います。それは、「だったらこうしてみたら？で夢は叶う」なんです。

大谷翔平選手は、18歳の時に、「23歳で日本代表に入る」、「34歳でワールドシリーズ3度目の制覇をする」、「40歳の引退試合でノーヒットノーランを達成する」というような人生計画を立てたそうです。自分で考えること自体に価値があり、自分で仕立てた計画ですから、自ずと「やりたいこと」と「やるべきこと」そして「やらなければならないこと」が明確になるので、具体的に準備しやすくなりますし、具体的に動きやすくなります。実際に行動すれば、うまくいかないこともあります。うまくいかないという結果は、実際に行動したからこそそのものであり、成長するために必要なものです。行動しない人には、失敗も成功もありません。何度失敗しても、何度も挑戦していくうちに、自分でも気づいていない長所や能力に気づいたり、知らない自分にも出会えるはず。ここ「ひがまつ」の先生方は、県内「あったかい」教員集団です。何度でも、挑戦する「〇〇小僧」の皆さんを全力で熱烈支援します。



道路室から見える景色

コロナ後の働き方が変わるとき ～情報に敏感になっていきましょう～

下の表は平成22年からこの2月までの高等学校新規卒業者の求人倍率の変化です。平成23年はいわゆるリーマンショックの連鎖的な影響で高校生の求人倍率が1.17倍まで下がり、「高校生の就職氷河期」と言われた時代でした。その2年後には東日本大震災の発生。高校生の求人数が心配されていましたが、逆にその年を境に求人数は上昇を続けて、令和2年3月卒業者の求人倍率は3.66倍まで上昇しました。完全な売り手市場となったのです。

令和元年12月から徐々に広がり始めた新型コロナの影響は一部の職種で影響は出ましたが、全体で見れば求人倍率には大きな影響はなく、今年の3月卒業者では何と宮城県内で4.26倍とこれまでで最も高い求人倍率となりました。しかし、実は石巻管内だけを見ると求人倍率は2.08倍と一時期よりかなり低い状況となっているのです。

さて、今年の3月からはアフターコロナを象徴する個人判断によるマスクの着用がスタートしました。

いよいよアフターコロナとなります。面接でもマスクを外すことが普通になってくるでしょう。コロナを理由にできなかったことができるようになったり、一方でコロナがきっかけでリモート会議など新しい働き方の形が一般的になったりもしています。

高校生の求職者数の減少がこの数年著しく、それも求人倍率をあげる要因になっています。私たちは社会の動きに敏感でなければなりません。日本国内だけでなく、世界の動きにも注意を払いながらこれからの1年間を過ごしていきましょう。

高校生の就職氷河期と言われた時代 東日本大震災

	H22.3月卒	H23.3月卒	H24.3月卒	H25.3月卒	H26.3月卒
県内求人数(人)	4,279	4,107	5,393	6,978	7,965
県内求職者数(人)	3,540	3,520	3,079	3,519	3,544
求人倍率(倍)	1.21	1.17	1.75	1.98	2.25

	H27.3月卒	H28.3月卒	H29.3月卒	H30.3月卒	H31.3月卒
県内求人数(人)	9,394	9,769	10,082	10,975	10,957
県内求職者数(人)	3,462	3,497	3,439	3,279	4,019
求人倍率(倍)	2.71	2.79	2.93	3.34	3.62

コロナ影響 コロナ影響 コロナ制限解除の動き

	R2.3月卒	R3.3月卒	R4.3月卒	R5.3月卒
県内求人数(人)	11,536	9,774	9,654	10,040
県内求職者数(人)	4,025	3,462	2,650	2,356
求人倍率(倍)	3.66	3.47	3.64	4.26



令和4年12月12日 朝 巻雲と校舎

Listen up!

全年次の皆さん5月19日(金)には進路ガイダンスがあります。毎年5月に実施して少なくとも3回は進路先を考えるきっかけを作っています。ぜひ、何の話を聞きたいか考えておいてください。

卒業予定の皆さん、今年も4月から進路部長全員面談を始めます。皆さんが今考えていることを教えてください。決まっていなくても、悩みだらけでも全然かまいません。1年後のために今から動きましょう。

当面の進路に関する動き

4月11日 (火)	新入生オリエンテーション 在校生オリエンテーション 進路希望調査① 進路指導部全員面談開始(卒業予定生徒全員)
4月22日 (土)	進路説明会(生徒出校日3, 4校時時間帯) 20・21年次講堂, 22年次視聴覚室, 23年次西体育館2階
5月10日 (水)	卒業年次・進路指導部合同会議 卒業年次と進路指導部の職員で、今後の流れや進路関係の規定、提出書類やその時期などについて理解する会を持ちます。
5月19日 (金)	進路ガイダンス I部・II部は3・4校時, III部は11, 12校時 外部の上級学校や講師が来校して皆さんに情報を提供します。 保護者進路説明会 17時00分～ 卒業予定生徒保護者対象ですが、入学年次・中間年次の生徒保護者の参加も歓迎します。※生徒の参加も可

進路指導部から

進路室は、卒業年次だけでなく中間年次も入学年次もどんどん活用してもらいたい場所です。遠慮することなく顔を見せてください。進路室は生徒たちが自分の将来を一生懸命になって考える場所です。動きははじめに早すぎるということはありません。お待ちしております。

編集後記

東松島高校は雲がとてもきれいに見えます。朝、空を見上げて1日が始まり、夕方空を見上げて夕空の雲に癒されて仕事を終える毎日です。